

広報あびこ



http://www.city.abiko.chiba.jp/

(毎月1日・16日発行) 平成29年(2017年) No.1422

携帯サイト http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/ 編集・発行 我孫子市役所 総務部秘書広報課 広報室
〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地 ☎04-7185-1111 (代表) FAX04-7185-1520

◆人口 132,619人 (-234人)
【うち外国人1,750人(+236人)】
男 65,218人 (-226人)
女 67,401人 (-8人)
◆世帯 57,713世帯 (+513世帯)
1月1日現在 () 内は対前年同月比

3館巡りに出かけませんか?

市には、鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館があり、この3館ではさまざまな企画展やイベントを開催しています。
冬のお散歩に、ぜひ一度ご来館ください!

鳥の博物館

高野山234の3

日本で唯一の鳥専門の博物館です。「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、手賀沼と鳥の関係を紹介したコーナー、鳥を科学的に展示したコーナー、人と鳥が今後どう共存していけばよいかを考えるコーナーなど、地域の自然保護から地球の環境問題まで幅広く展示しています。
☎7185-2212



案 第77回企画展「鳥の子育て—ジオラマで見る鳥の繁殖—」

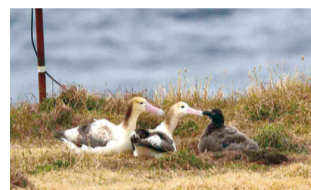
鳥にとっての子育ては、1年のうちで最も大事なイベントです。より多くの子孫を残すため、種ごとに進化したさまざまな工夫がみられます。今回は繁殖に関わるジオラマや剥製を展示し、鳥たちの巧みな子育ての秘密に迫ります。手賀沼周辺で見られる鳥の繁殖行動の見どころも紹介します。
期間 2月11日(祝)~6月25日(日)



▲巣に入るツバメのつがいのジオラマ

案 テーマトーク「アホウドリ 小笠原での繁殖成功が意味するもの」

昨年、学術雑誌「アニマルコンサベーション」で発表したアホウドリ再導入事業のこれまでの成果を分かりやすく解説するほか、今回の発表がどれほど世界から注目を集めているかについてもお話しします。
日時 2月11日(祝)午後1時30分~2時15分(1時15分開場)
講師 出口智広さん(山階鳥類研究所 保全研究室研究員)
定員 先着50人(申込不要)



▲2016年2月に小笠原諸島で確認されたアホウドリの親子

案 あびこ自然観察隊「オーイ!冬鳥くん」

手賀の丘の森や手賀沼湖畔で冬鳥の観察をしよう!
日時 2月12日(日)午前8時45分~午後0時20分(雨天中止) ※鳥の博物館駐車場集合。バスで手賀の丘少年自然の家へ移動するため、時間厳守。
定員 先着30人(要申込)
※小学生以下は保護者同伴
費用 100円(保険料)
持ち物 筆記用具、防寒の服装、双眼鏡(お持ちの方)



▲手賀沼に冬鳥として渡来するコガモ

トートバッグを販売!

水鳥の足あとをモチーフにしたオリジナルバッグです。素材はコットンキャンバスで、サイズは縦30cm×横40cm×マチ12cmです。
価格 600円



案 鳥博セミナー「日本の鳥の今を描く 全国鳥類繁殖分布調査」

「全国鳥類繁殖分布調査」が昨年からはじまり、全国約2300カ所ですべて5年間行われます。この調査で分かること、1年目の調査で分かってきたこと、私たちに協力できることなどをお話しします。
日時 2月18日(土)午後1時30分~3時
講師 植田睦之さん(NPO法人バードリサーチ代表)
定員 先着50人(要申込)

全国鳥類繁殖分布調査
日本の鳥の今を描こう



白樺文学館

緑2の11の8

大正時代、雑誌『白樺』の中核となった柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤が居を構え、多くの文人墨客が集った手賀沼のほとりにあり、白樺派作家や民藝運動に関わった人々の作品を所蔵しています。音楽家・柳兼子が愛用したピアノもあり、ボランティアスタッフによる演奏が行われています。☎7185-2192



案 常設テーマ「白樺派と我孫子」

今回は志賀直哉作品を中心に展示しています。志賀直筆の我孫子の志賀邸の図面は初展示です。
期間 9月24日(日)まで

案 朗読のひととき ~白樺派を知る④~

今回は武者小路実篤についてです。スタッフによる朗読と学芸員のトークをお楽しみください。
日時 2月26日(日)午後2時~3時
定員 先着20人(要申込)

杉村楚人冠記念館

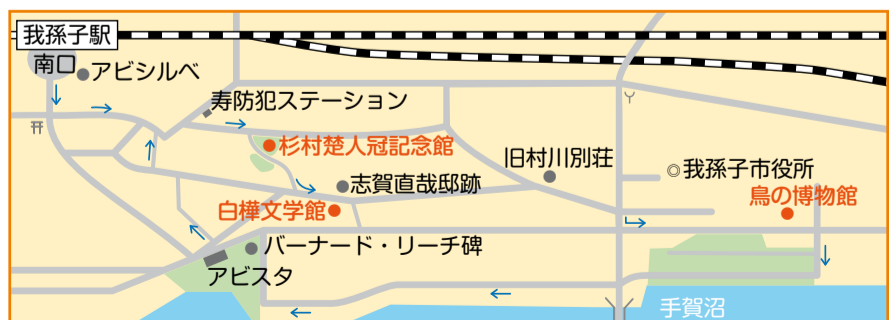
緑2の5の5

明治末期から昭和前期に活躍した国際的ジャーナリスト、杉村楚人冠。楚人冠邸の母屋をそのまま利用した記念館で、当時の様子がうかがえます。また、庭には楚人冠が好んだ椿などが約200本植えられ、冬から春にかけてきれいな花を咲かせます。
☎7182-8578



案 テーマ展示「なつかし! 我孫子の街なみ展」

江戸時代、水戸街道の宿場町だった我孫子は、鉄道が開通した明治時代から昭和時代にかけて、街なみが駅前にも広がり商店街を形成します。その当時の地図・写真と昨年寄贈された商店街の手拭いを展示しています。
期間 3月5日(日)まで



共通

開館時間 午前9時30分~午後4時30分(杉村楚人冠記念館は午前9時~、午後4時までに入館)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料 一般300円、高校・大学生200円、中学生以下無料(鳥の博物館は70歳以上無料) ※団体20人以上2割引
3館共通券 一般600円、高校・大学生400円 ※購入日から1カ月有効

【平成29年度 有料自転車駐車場の一斉募集受付は2月12日(日)までです】現在利用中の方も申請が必要です。詳しくは広報あびこ1月16日号をご覧ください。
☎ (公社)我孫子市シルバー人材センター ☎7193-8091